

「TOMODACHI アフラック プログラム」 第4回目（2016年）の派遣医師を募集 ～ 小児がん研究に携わる医師の米国留学助成制度 ～

アフラック（アメリカンファミリー生命保険会社、日本における代表者・社長：山内 裕司）は、日米交流事業「TOMODACHI イニシアチブ」（<http://usjapantomodachi.org>）の一環として2013年から展開している米国留学助成制度「TOMODACHI アフラック プログラム」における第4回目（2016年）の米国への派遣医師を募集します。なお、第3回目（2015年）で選出された札幌北楡病院の佐野弘純医師は、2015年8月から米国ジョージア州の「アフラックがん・血液病センター」に派遣されています。今回の派遣期間は2016年8月から6カ月間の予定です。

本プログラムの概要は、以下のとおりです。（佐野医師の活動レポートは別紙1、募集要項は別紙2参照）

◆<TOMODACHI アフラック プログラム>概要

【TOMODACHI イニシアチブとは？】

東日本大震災後の復興支援から生まれた活動で、教育、文化交流、リーダーシップなどのプログラムを通して、日米の次世代のリーダーの育成を目指す『公益財団法人 米日カOUNシル』と米国大使館が主導する官民パートナーシップです。日米関係の強化に深く関わり、互いの文化や国を理解し、より協調的で繁栄した安全な世界への貢献と、そうした世界での成功に必要な世界中で通用する技能と国際的な視点を備えた日米の若いリーダーである「TOMODACHI 世代」の育成を目指しています。

【TOMODACHI アフラック プログラム】

目的	米国における最先端の小児がん研究の経験を通じ、日本での治療・研究に役立てる
対象者	小児がんの基礎、診断、治療等の研究に携わる日本在住の医師（40歳未満）
概要	「アフラックがん・血液病センター」（米国ジョージア州アトランタ）に、日本在住の医師を1名、原則6カ月間派遣し、留学費用200万円を支給する（宿舎などに関する費用は別途支給）
応募受付	2015年12月1日（火）～2016年2月14日（日）
派遣期間	2016年8月～2017年1月予定（原則6カ月）

※ 派遣医師の選考については、「日本小児血液・がん学会」の協力のもと、「TOMODACHI アフラック プログラム」選考委員会（委員長：堀部敬三氏<名古屋医療センター臨床研究センター長/日本小児血液・がん学会理事長>）で行います。

選考に関するお問い合わせ

アフラック 広報部 社会公共活動推進課
〒163-0456 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビル
月曜～金曜 9:00～17:00 TEL: 03-5908-6411

※応募要項・応募用紙はアフラックホームページ（<http://www.aflac.co.jp/>）からダウンロード可能です。

当社は、多くの方々の「生きる」を創る保険会社として、社会における課題の解決と持続的な成長をめざし、社会と共有できる価値の創造（CSV*経営）に努めていきます。

*Creating Shared Value

「TOMODACHI アフラック プログラム」活動レポート (2015 年)

◆佐野弘純氏 略歴



社会医療法人北楡会 札幌北楡病院小児思春期科医長。2001年3月に滋賀医科大学医学部小児科を卒業後、大阪大学医学部附属病院、ベルランド総合病院、埼玉県済生会川口総合病院の小児科に勤務したのち、2005年より群馬県立小児医療センター血液腫瘍科にて小児血液・がん疾患の診療及び研究に従事。2010年9月より社会医療法人北楡会 札幌北楡病院小児思春期科医員となり、2012年4月からは現職として造血幹細胞移植を含む小児血液・腫瘍性疾患の診療に従事している。

【TOMODACHI アフラック プログラムに参加して感じたこと】

医療制度の違いや使える薬の違いに戸惑うことも多いですが、この病院は医師や看護師以外にも nurse practitioner や physician assistant (医師の指導の下で医療行為を行うことができるアメリカの医療職) といった日本にはない職種の方がいたり、患者さんの治療方針を決めるカンファレンスではそれらのスタッフ以外にも栄養士の方や薬剤師の方が積極的に議論に加わり、患者さんにとってどういう治療・ケアの方針が最善なのか、連日徹底的に議論していることに感銘を受けました。

スタッフ・施設の充実もそうですが、入院中の子どもたちの心理面でのサポートやアメニティーの充実も素晴らしく、病棟内ではいろいろなイベントが開かれています。10月末からは、血液・腫瘍患者さんの入院病棟で研修が始まりました。

アフラックの皆様のおかげで、とても充実した研修を送っています。残された研修期間も有意義なものとなるよう精いっぱい頑張りたいと思います。



▲佐野医師の派遣先「アフラックがん・血液病センター」
(米国ジョージア州アトランタ)

【今後参加される方へのメッセージ】



▲BMT(造血細胞移植)病棟担当メンバーと(佐野医師は右から2番目)

日本での多忙な日々を離れて留学に出る事には、家族や同僚など、まわりの理解や協力が不可欠ですし、多くのハードルがあるかもしれません。とはいえ、このプログラムは若い小児科医師が米国の臨床を知り視野を拓げるための絶好の機会であると思います。興味がある方はぜひ、挑戦してみてください。

第 4 回 TOMODACHI アフラック プログラム

募集要項

目的	<p>本制度は、Aflac Cancer and Blood Disorders Center of Children's Healthcare of Atlanta, Georgia (所在：米国ジョージア州アトランタ)に留学し、同センターが実施する以下のプログラム(※)の研修を行う医療従事者に対して奨学助成することを目的とする。</p> <p>(※)Pediatric Cancer and Blood Disorders Programs</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆Pediatric Blood and Marrow Transplant(BMT) Program ◆Childhood Cancer Program and Cancer Survivorship Program ◆Hematology Program <ul style="list-style-type: none"> ・ Bleeding and Clotting Disorders ・ Sickle Cell Disease Program
募集概要	<p>対象資格：小児がんの基礎、診断、治療等の研究に携わる医師</p> <p>人数：1名(原則単身渡米とする)</p> <p>留学期間：2016年8月～2017年1月(原則6カ月)</p> <p>(※)具体的な日程については募集決定後に通知</p> <p>助成金額：200万円(別途、宿舍・レンタカーの支給あり)</p> <p>研究対象：臨床研究</p>
応募資格	<ul style="list-style-type: none"> ・一定の研究業績を有する医師 ・留学時の年齢が40歳未満である者 ・所属施設の部門、教室等の責任者の推薦状のある者 ・留学先での研修内容が明確な者 ・2016年8月～2017年1月の間に留学可能な者 ・日常会話程度の英語スキルがある者(英語での面接を行う場合有) ・他の留学助成制度の奨学金を重複して受けていないこと ・他の留学助成制度に応募している場合で、本留学助成制度の受賞者に選ばれた時は、優先して本留学助成制度を利用する意思があること ・留学後にも、TOMODACHI世代との交流や、イベントへの参加が可能な者
応募方法	<p>当制度規定の書式に必要事項を記入。その他必要書類を添付し、事務局に提出する</p>
提出書類	<ol style="list-style-type: none"> 1. 応募用紙(所定の応募用紙に英語及び日本語で記述し、各一部ずつ提出) 2. 推薦状 3. 業績目録 4. 留学先での研修テーマ概要
応募締め切り	<p>2016年2月14日(日)</p>
選考方法	<p>「TOMODACHI アフラック プログラム」選考委員会において選考する</p>
選考委員 (敬称略)	<p>堀部敬三(国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター/小児血液・がん学会) *選考委員長</p> <p>越永従道(日本大学医学部 小児外科/小児血液・がん学会)</p> <p>前田美穂(日本医科大学 小児科/小児血液・がん学会)</p> <p>菊田 敦(福島県立医科大学 小児腫瘍科/小児血液・がん学会)</p> <p>堀浩 樹(三重大学医学部附属病院 小児科/小児血液・がん学会)</p> <p>田尻達郎(京都府立医科大学 小児外科/小児血液・がん学会)</p> <p>松井秀文(認定NPO法人ゴールドリボン・ネットワーク理事長)</p>
研究報告	<p>留学終了時点で、研究成果として和文または英文A4サイズ10枚程度を事務局に提出するとともに、日本小児血液・がん学会雑誌に研究報告を行う。なお、本研究に関して学会または論文で発表する場合は「TOMODACHI アフラック プログラム」(supported by the TOMODACHI Aflac Program)の旨、明記する。</p>
経費報告	<p>留学終了時点で助成金の使途概略をA4サイズ1枚にまとめ、事務局に提出する</p>
書類提出・問い合わせ先	<p>アフラック 広報部社会公共活動推進課</p> <p>〒163-0456 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビル</p> <p>TEL: 03-5908-6411 / e-mail: syakatsu@aflac.co.jp</p>